本部紹介
産業ビジネス開発第２本部

CTC
Challenging Tomorrow's Changes

本部長メッセージ



産業ソリューション事業グループ
産業ビジネス開発第２本部
本部長　梅原　俊哉

「作る」だけでは終わらない。

プロダクト × 開発 × 運用 × AIで、お客様と価値を育てる。

私たちはERP、PLM、CRM、デジタルワークフロー／ITサービスマネジメント（ITSM）、コンタクトセンター領域を強みに、企画・構想から開発、運用保守まで一貫してお客様を支援しています。

特定の製品や工程だけではなく、業務そのものをより良くし続けることが私たちの使命です。

現在は「**プロダクト×開発×運用**」の融合を本部方針に掲げ、継続的に価値を生み出すサービス型ビジネスへの進化を進めています。

生成AIの普及により、SEに求められる役割も変化しています。私たちはAIを活用した開発、運用、業務改革を推進し、お客様と共に新しい価値を生み出す人材を育成します。

産業ビジネス開発第２本部の組織構成（１）

産業ビジネス開発第２本部

社員数： 368名　外部人材： 484名

顧客領域	主に首都圏に拠点を構える製造・流通業を営む法人
ビジネスモデル	保守運用サービス：約38% 開発・SI：約20% 製品：約42%
規模/1案件あたり	100万円～10億円/件
人数/１案件あたり	数名～数十名/案件
年齢構成	20代：28%　40代　：31% 30代：18%　50歳以上：23%
新卒中途割合	新卒：73%　中途27%

産業システム開発第１０部	デジタルマーケティング基盤／RPA／ローコード開発／業務プロセス変革の各領域での技術支援、提案・構築・開発・保守サービスの提供
産業システム開発第１１部	食品卸売業界を中心とした産業分野のお客様向けの開発SI案件の推進、アプリケーション運用保守とエンハンス開発のサポート
ＤｅｖＯｐｓ第１部	総合商社、飲料メーカーおよびその関連会社向け本社基幹システム等の運用保守とエンハンス開発の実行
ＤｅｖＯｐｓ第２部	コンビニエンスストア業界向け開発SI案件の推進、運用保守およびエンハンス開発、業務・システム運用のサポート コンビニエンスストア業界に限らず、運用保守の巻取り、拡大
ＤｅｖＯｐｓ第３部	飲料メーカー業界向け新規開発、大型再構築案件等のSI開発 総合商社、その他アパレル等向け運用保守とエンハンス開発 本部内の案件の開発支援と組織横断での新技術の活用推進

産業ビジネス開発第２本部の組織構成（２）

産業ビジネス開発第２本部

ＤｅｖＯｐｓ サービス技術部	運用保守サービス全体の統轄管理 システム運用および24×365オペレーションサービスの提供 AI等の新技術活用と運用保守サービスの高度化・効率化支援 各種システムのユーザー支援（BPO、ヘルプデスク）業務
ＥＲＰ ソリューション 第１部	Fit to Standardを前提とする顧客向けSAPパブリック クラウド導入サービス、BTPによるERP周辺開発サービス提供 SAPパブリッククラウドコアとBTPの継続的な技術検証 SAP ECC6.0アプリケーション保守
ＥＲＰ ソリューション 第２部	総合商社本社/海外現地法人向けSAP S/4HANA案件対応 総合商社グループ企業向けGRANDIT案件の推進、開発、保守 Sale Forceをコアとした F2S/ローコード開発
コンタクトセンター 技術部	コンタクトセンター基盤を中心としたシステム提案/構築 デジタルマーケティングの連携によるDXソリューション コンタクトセンター、CRM、音声認識製品の主管
ＰＬＭ技術部	PLM領域の技術支援及び開発SI案件の提案／構築、推進 主管製品の販売・導入支援等各種サービス・製品保守/運用保守 PLM製品を中心とした新規ソリューションの企画、推進、拡販

産業ビジネス開発第２本部の特徴・注力ポイント

本部の特徴や注力していること

「プロダクト × 開発 × 運用」

分業は**効率**を生み、融合は**価値**を生み続ける。顧客が求めているのは業務が良くなり続けること。
その実現のために、**「プロダクト × 開発 × 運用」**を融合し、新たな業務価値を創り出す。

Mission（使命） **分業を、共創に変える**

Vision（目標） **プロダクト×開発×運用が自然に交わり、価値を生み続ける組織へ**

Value（行動指針） **知る・興味を持つ越境する、連携する、価値に責任を持つ**

産業ビジネス開発第２本部で得られる経験／目指せるキャリア

当本部ではこんな経験を積むことができます。

プロダクト・開発・運用の垣根を越え、業界を代表するお客様の業務変革と価値創出を支える経験を積むことができます。AIやクラウドなど先進技術にも挑戦でき、多彩なキャリア形成を実現できます。

業務価値を創り出す力を磨く

開発だけでなく、企画・提案・運用まで関わり、お客様のビジネス変革を支える視点を身につけます。

専門性を軸にキャリアを広げる

製品スペシャリスト、SE、PM、プリセールスなど、自身の志向に応じてキャリアの可能性を広げられます。

先進技術と大規模案件に挑戦する

AI・クラウド活用や大規模システムへの参画を通じて、技術力と視野を大きく伸ばせます。

産業ビジネス開発第２本部で働くキャリア入社者の声

実際に、当本部にキャリア入社された皆さんにお聞きしました。

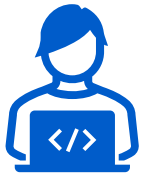
当本部の魅力は特定の技術領域に閉じることなく、多様なキャリアを描けることだと思います。
インフラ、アプリケーション、クラウドなど幅広い専門性を持つメンバーと協働して、大規模案件に取り組むことが可能です。社内に様々な分野のエキスパートがいるのは大変心強いです。また、SEとして専門性を高めるだけでなく、PMやプリセールスなど上流工程へキャリアを広げられる環境も整っています。
自身の志向や強みを活かしながら成長できる点も大きな魅力です。（プロダクト・40代）



入社後は社内向け開発プラットフォームの構築を担当し、未経験だったTerraformを使ったインフラ構築や、セキュアな基盤設計を経験しました。入社動機だったAWSにも実務で触れ、資格も取得できました。
また、前職ではスクラムでのサービス開発が中心だったため、SI案件を複数並行で進めるプロジェクト管理は新しい経験で、難しさもありますが確実に視野が広がっています。（開発・30代）

産業ビジネス開発第２本部で働くキャリア入社者の声

前職では一開発者として開発・設計に携わっておりましたが、CTC入社後はプリセールスの機会もいただき、開発目線だけでは得られなかった視座を持てるようになったと実感しております。
製品知識はもちろん、キャリアを広げるための研修制度も充実しており、手厚いキャッチアップ体制のもと日々学ばせていただいています。（プロダクト・20代）



入社後は、多数のサブシステムで構成される大規模システムの運用・保守に携わりました。担当領域だけでなく、他システムやお客様業務への影響を考慮して対応する中で、システム全体を俯瞰して考える視点が身につきました。
多数のシステムが連携する環境では、認識齟齬が大きな影響につながる可能性があります。そのため、お客様や関係者のそれぞれの立場を意識した認識合わせをより心掛けるようになり、調整力や相手目線で伝える力の向上につながっています。（DevOps・20代）